

世界各国の太鼓200個奏でる即興音楽

「ドラムサークル」って知ってる？ 何人かで輪になっていろいろな種類の太鼓をたたき、メロディーを作っていく即興の音楽。楽譜も決まりもなく初心者でも大丈夫。世界各国の太鼓もそろっているらしい。さあー思いっきりたたきましょーと、鹿児島市であった演奏会に参加してきた。

鹿児島市

異年齢の40人
無心にリズム

会場は鹿児島市のかしま原の民交センター内のスタジオ。重い防音扉を開く前から、地鳴りのような音が聞こえてくる。中に入ると、昨年十月にできたグループ「ドラムサークルカゴシマ」の森田孝一郎さん(36)が輪の中心でリズムに乗っている。その周りに、小学生ぐらい

と、音が変化して人の声みたいの表面を手でなでてみる。「サに変わる。ナイジェリアでは精霊との会話に使っていたんだって。男よつ見まねでたたく。ス「何の音に聴こえますか？」「海トリア」の合図で、オープニングの演奏は終わった。

太鼓はざっとみて、百個以上だの本箱にしか見えないカホンも、カホンは、スペインでフラメンコを踊るときや、南米のフォルクロールの演奏に使う。奏者は座って立て板をたたく。

このほか、タンバリンみたいな中東の楽器タールや、振って音を出すシェーカーが形から木の実を集めたようなものまである。

「まず、心臓の鼓動を音にしてみましょー」と森田さんの進行で四つのパートに分かれて違うリズムをたたき、耳を澄ますと、周りにいろいろな音色があることが分かる。隣と自分の音もかなり違う。次に全員でドラム

の表面を手でなでてみる。「サに変わる。ナイジェリアでは精霊との会話に使っていたんだって。男よつ見まねでたたく。ス「何の音に聴こえますか？」「海トリア」の合図で、オープニングの演奏は終わった。

太鼓はざっとみて、百個以上だの本箱にしか見えないカホンも、カホンは、スペインでフラメンコを踊るときや、南米のフォルクロールの演奏に使う。奏者は座って立て板をたたく。

このほか、タンバリンみたいな中東の楽器タールや、振って音を出すシェーカーが形から木の実を集めたようなものまである。

「まず、心臓の鼓動を音にしてみましょー」と森田さんの進行で四つのパートに分かれて違うリズムをたたき、耳を澄ますと、周りにいろいろな音色があることが分かる。隣と自分の音もかなり違う。次に全員でドラム

次回(三月二十五日午後二

四時、同センター。参加費は五

百円(小学生は百円、小学生

以下無料)。「ドラムサークルカ

ゴシマ」07(5482)

1248、ホームページは

http://www.kagoshima-drum.com/を参照。(パソコン、

携帯電話同用)。



ドラムサークル演奏会に参加

自分でアレンジしていただいても楽しいドラムサークル